

## 取締役会の実効性評価に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス・コードを有効に機能させるため、取締役会の実効性を高め、機能向上や課題の改善を図ることを目的として、取締役会の実効性に関する分析・評価を実施しています。

この度、2023年度における当社取締役会の実効性について、分析・評価を行いましたので、その概要について以下のとおりお知らせいたします。

### 1. 分析・評価の方法

取締役及び監査役全員に対し、実効性評価に関するアンケートを配布し、各設問の段階的な評価と自由記載欄を設け自己評価を行いました。

対象者：取締役及び監査役全員（10名）

回答者：取締役7名（内 社外取締役2名）、監査役3名（内 社外監査役2名）

実施時期：2024年2月～4月（集計・分析期間等含む）

### 2. 評価項目

評価を実施した主な項目は以下のとおりであり、各設問に段階的な評価及び自由記載欄を設け、自己評価を行いました。

- （1）取締役会の構成・規模について（4問）
- （2）取締役会の役割・機能について（7問）
- （3）取締役会の運営について（7問）
- （4）取締役会を支える体制について（6問）
- （5）その他（自由記載欄）

### 3. 分析・評価結果の概要

当社取締役会は、多様な経験や専門性をもつ社外役員を含んでおり、それぞれ果たすべき役割を十分に理解し意見を述べ責務を適切に果たしていること及び、議題や課題について十分な議論を行い意思決定していることから、引き続き取締役会の実効性は概ね確保されていると判断しております。また、昨年の課題として挙げられた事項については取組みが進められているものの、以下の課題につきましては、引続き改善に向け方針の検討が進められております。

- （1）取締役会の多様性の確保
- （2）中期経営計画の策定、分析
- （3）代表取締役の後継者計画

#### 4. 今後の対応

上記の分析・評価を踏まえ、それぞれの課題に関しては、以下通り検討及び対応を進めてまいります。

- (1) 現在、当社の取締役会の構成人員は7名であり、営業、技術、製造、法務、会計・税務、財務、行政等、各方面の知識や経験、能力に優れたメンバーでバランスよく構成されており、当社の事業内容等を勘案し、現在の人員や構成が適正と判断しております。今後も各取締役の知識・経験・能力等を一覧化したスキルマトリックスを整備し、適宜取締役会全体が備えるべきスキルと適切な取締役会の構成を模索してまいります。スキルマトリックス作成作業については予定より遅れておりますが当事業年度には整備できるよう進めてまいります。
- (2) 当社は事業環境の変化が大きく、また研究開発に長期間を要する事業特性があることなどから中期経営計画を公表しておりませんが、株主様に対するコミットメントの一つであると認識し、引き続き、中期的な目標設定や、その実現に向けた効果的な対策について検討してまいります。
- (3) 当社取締役会は、最高経営責任者（CEO）等の後継者計画の策定・運用に主体的に関与するとともに、計画的且つ適切に監督できる体制を検討しております。当事業年度中にまず最高経営責任者（CEO）に求められる選任基準（人物像、知見）について、取締役会での認識を統一する方針です。

今後も、課題と認識した事項については、十分な議論の時間を割き、取締役会の実効性のさらなる向上を目指してまいります。また、評価の方法等も引き続き検討を行いながら、ガバナンス体制の一層の強化に努めてまいります。

以 上